

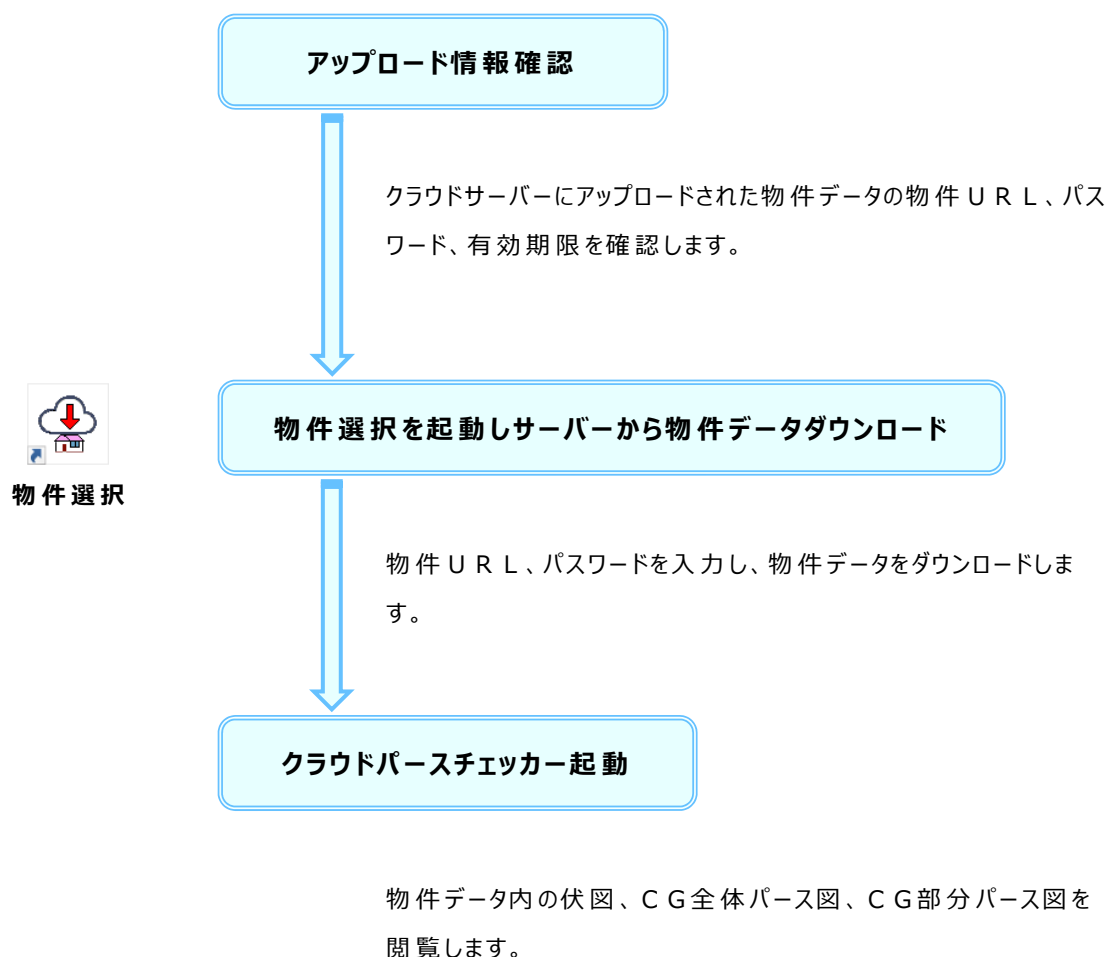
パースチェッカー 物件データダウンロード



「クラウドパースチェッカー」を使用して、CADの物件データ内の伏図、CG全体パース図、CG部分パース図を閲覧します。

※ 当社ホームページの「クラウドパースチェッカー 無料ダウンロード」ボタンよりクラウドパースチェッカーシステムのインストールが必要です。

【パースチェッカー物件データダウンロード手順】

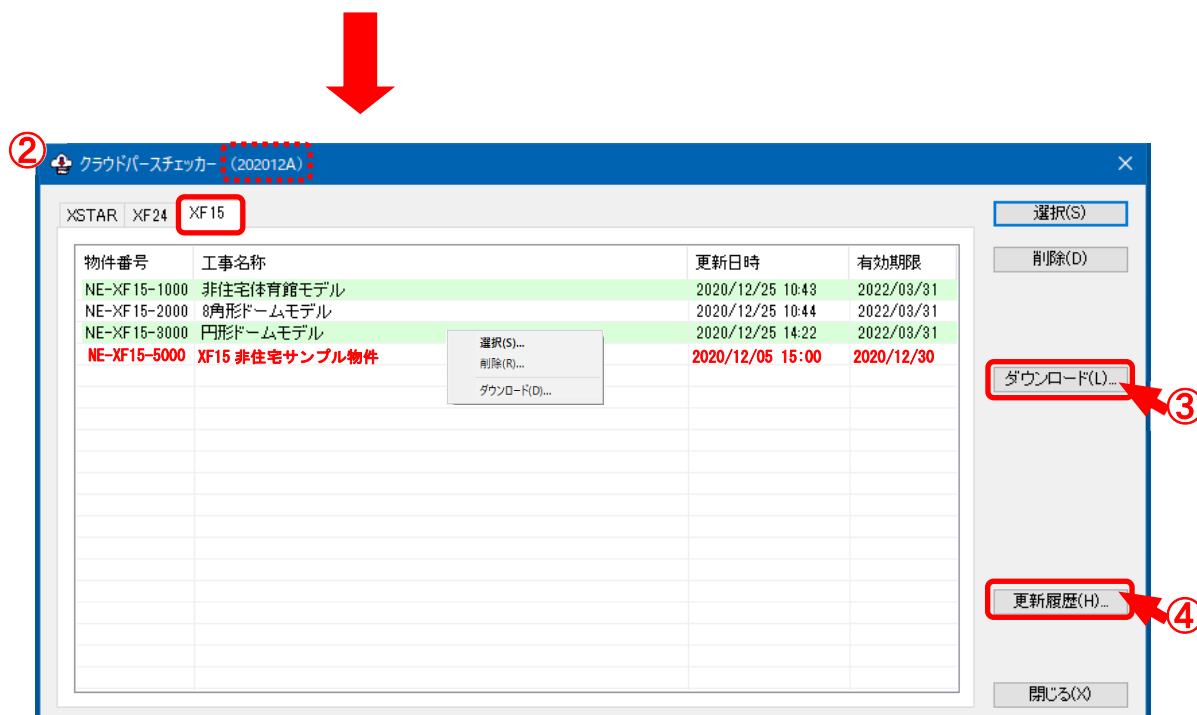


物件データダウンロード

- ◆ 物件一覧を使用して、クラウドサーバーから物件データをダウンロードします。



- ① 「クラウドパスチェッカー」のアイコンをダブルクリックします。

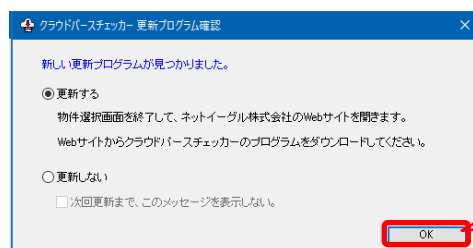


- ② 「クラウドパスチェッカー」の画面が表示されます。

現在ご使用中のクラウドパスチェッカーのバージョンが確認できます。

- ③ 「XF15」のタブを選択し、「ダウンロード」をクリックします。

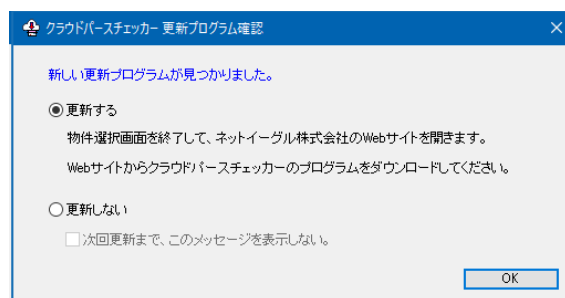
※ マウスの右クリックからでも「選択」「削除」「ダウンロード」を選択できます。



「更新する」または「更新しない」を選択して、
「OK」をクリックします。

「ダウンロード」をクリックした際に、ご使用中のクラウドパスチェッカーより新しいプログラムが当社ホームページにアップされている場合、「クラウドパスチェッカー 更新プログラム確認」の画面が表示されます。

物件データダウンロード



<更新する>

当社ホームページのトップページが開きます。

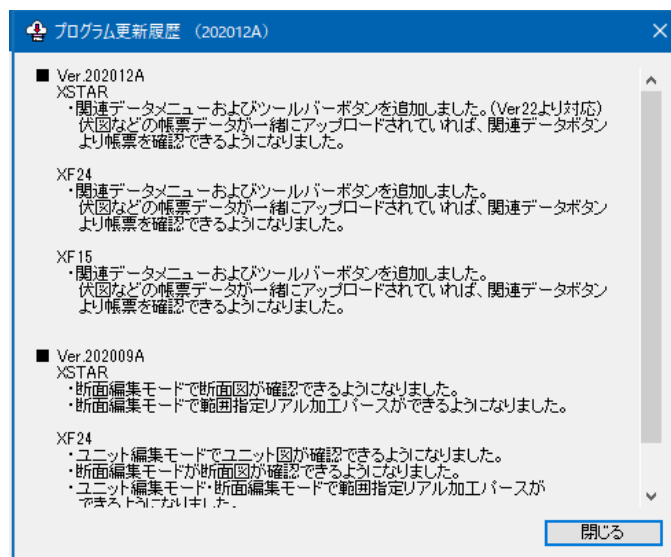
クラウドパースチェッカーのページで、「クラウドパースチェッカー 無料ダウンロード」ボタンよりクラウドパースチェッカーシステムのインストールをお願いします。

<更新しない>

更新しない場合は、「物件データ ダウンロード」の画面が表示されます。

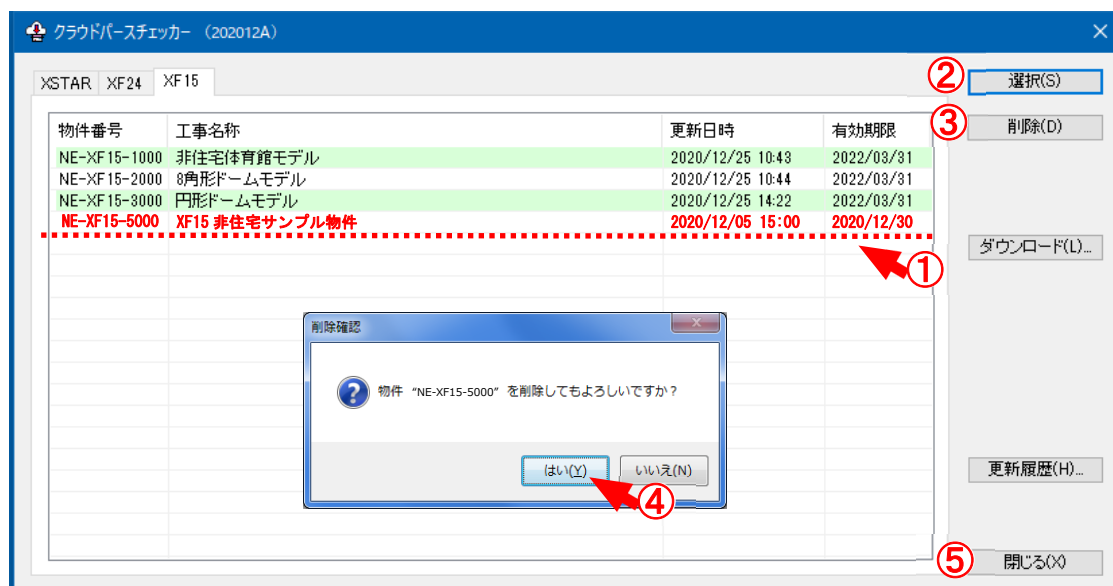
物件のダウンロードへ進みます。

「次回更新まで、このメッセージを表示しない。」にチェックをつけると、次回新しいプログラムが当社ホームページにアップされるまで、確認画面は表示されません。



- ④ 「更新履歴」をクリックすると、「プログラム更新履歴（バージョン番号）」の画面が表示されます。
クラウドパースチェッカープログラムの更新内容が確認できます。

物件データダウンロード

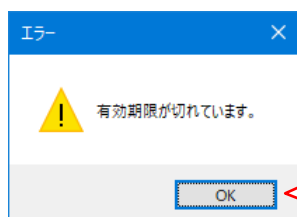


- ① 有効期限が切れた物件データは、赤色文字で表示されます。
- ② 既にダウンロードした物件データを再度、クラウドパスチェッカーで開く場合は、物件を選択し、「選択」をクリックします。
- ③ 物件データが不要な場合は、物件を選択し、「削除」をクリックします。
※ C t r l キーや S h i f t キーで複数物件を選択して、削除できます。
- ④ ③で「削除」をクリックすると、「削除確認」の画面が表示されます。
「はい」をクリックし、物件を削除します。
- ⑤ 「閉じる」をクリックすると、「物件選択」が終了します。

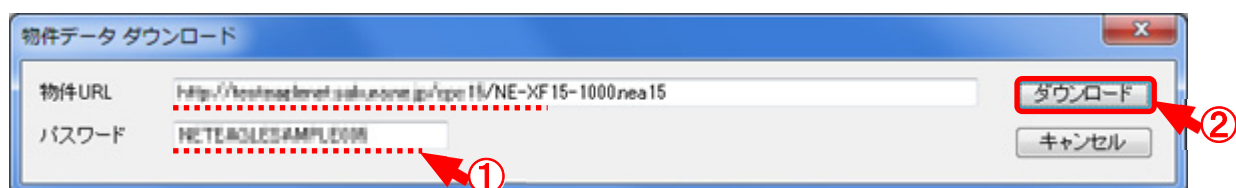
物件データダウンロード

有効期限が切れた物件データをクラウドパーサチェッカーで開いた時やダウンロードした時に、「エラー」の画面が表示されます。

有効期限が切れた物件データの起動やダウンロードはできません。



「OK」をクリックし、「エラー」の画面を終了します。



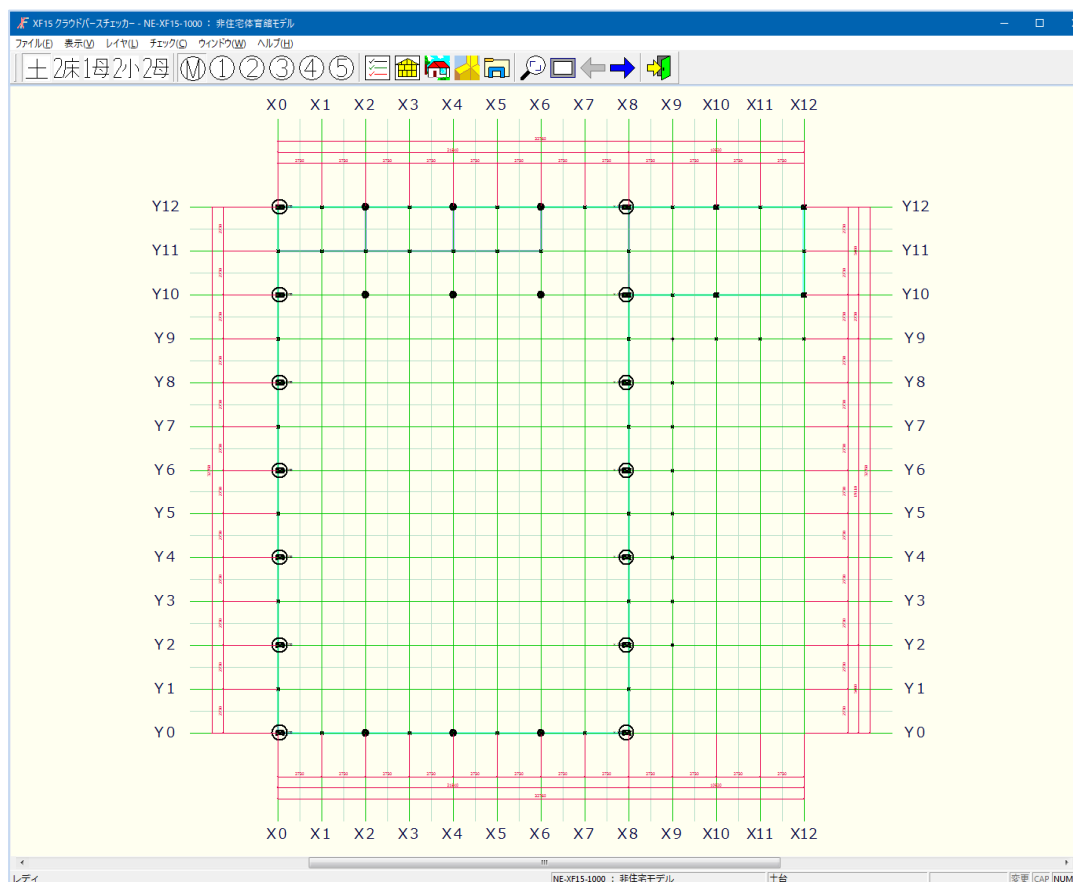
- ① 「ダウンロード」をクリックすると、「物件データ ダウンロード」の画面が表示されます。

物件URL、パスワードを入力します。

※ 物件URL、パスワードは、XF15CADを使用されているプレカット工場様等が物件データをクラウドサーバーへアップロードした時に表示されます。

- ② 「ダウンロード」をクリックします。

物件データダウンロード



- ① クラウドパーサーが起動します。
ダウンロードした物件データの伏図が表示されます。



をクリックすると、構造パーサーが起動します。

構造パーサー起動時に「RenderWin4 は動作を停止しました」のエラーが表示された場合は、以下の設定を変更し、再度構造パーサーの起動確認をお願い致します。

<設定方法>

構造パーサー起動後、[オプション-デバイス設定]をクリックし、「デバイス設定」の画面から「GPUを使用せず、ソフトウェアのみでレンダリングする。」にチェックをつけ、設定します。

構造パーサーが起動しない場合、「C:\nepgm\xsparse\bin\RendWin4.exe」を直接ダブルクリックし、構造パーサーを起動させた後にデバイスの設定を行ってください。

クラウドパースチェッカー／起動

- ◆ クラウドパースチェッカーでは、レイヤ切替、画面拡大、構造パース起動の操作ができます。

『メニューバー』
メインツールバーの機能をメニューバーからでも操作できます。

『メインツールバー』
レイヤ切替、画面拡大、構造パース起動の操作ができます。



『ヒント』
マウスカースルをツールバーボタンに合わせた時に操作のヒントが表示されます。

『レイヤ』
表示中のレイヤ名が表示されます。

『物件番号／邸名』
起動中の物件番号と邸名が表示されます。

クラウドパースチェッカー／起動

『メインツールバー』



・土台から屋根レイヤまで切替ます。

＝〔レイヤ－土台～4階屋根〕



・メインレイヤからサブレイヤを切替ます。

＝〔レイヤ－メイン～サブレイヤ5〕



・要素表示（伏図）：伏図画面に表示する要素を設定します。

＝〔表示－要素〕



・断面編集モード：断面編集モードに切り替えます。

＝〔表示－断面編集モード〕



・構造パース：構造パースを起動します。

＝〔表示－構造パース〕



・範囲構造パース：パース図の描画範囲を指定して、構造パースを起動します。

＝〔表示－範囲構造パース〕



・関連データ：アップロードされたPDFなどのファイルが保存されています。

＝〔表示－関連データ〕



・範囲拡大：指定した範囲の画面を拡大表示します。

＝〔ウィンドウ－範囲拡大〕



・全体図：全体図に戻します。

＝〔ウィンドウ－全体図〕

クラウドパースチェッカー／起動



・前のページ／次のページ：伏図画面では、表示レイヤを切り替えます。

ユニット編集モードでは、選択中のユニットからユニット番号順に順送りします。S h i f t キーを押しながらクリックすると、ユニット番号の先頭または最後のユニットが表示できます。

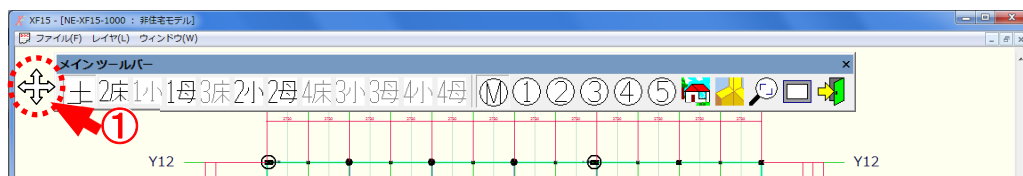
断面編集モードでは、選択中の断面図から断面切断線番号順に順送りします。S h i f t キーを押しながらクリックすると、断面切断線番号の先頭または最後の断面図が表示できます。



・アプリケーションの終了：パースチェックシステムを終了します。

=〔ファイル－アプリケーションの終了〕

＜ツールバーの移動＞

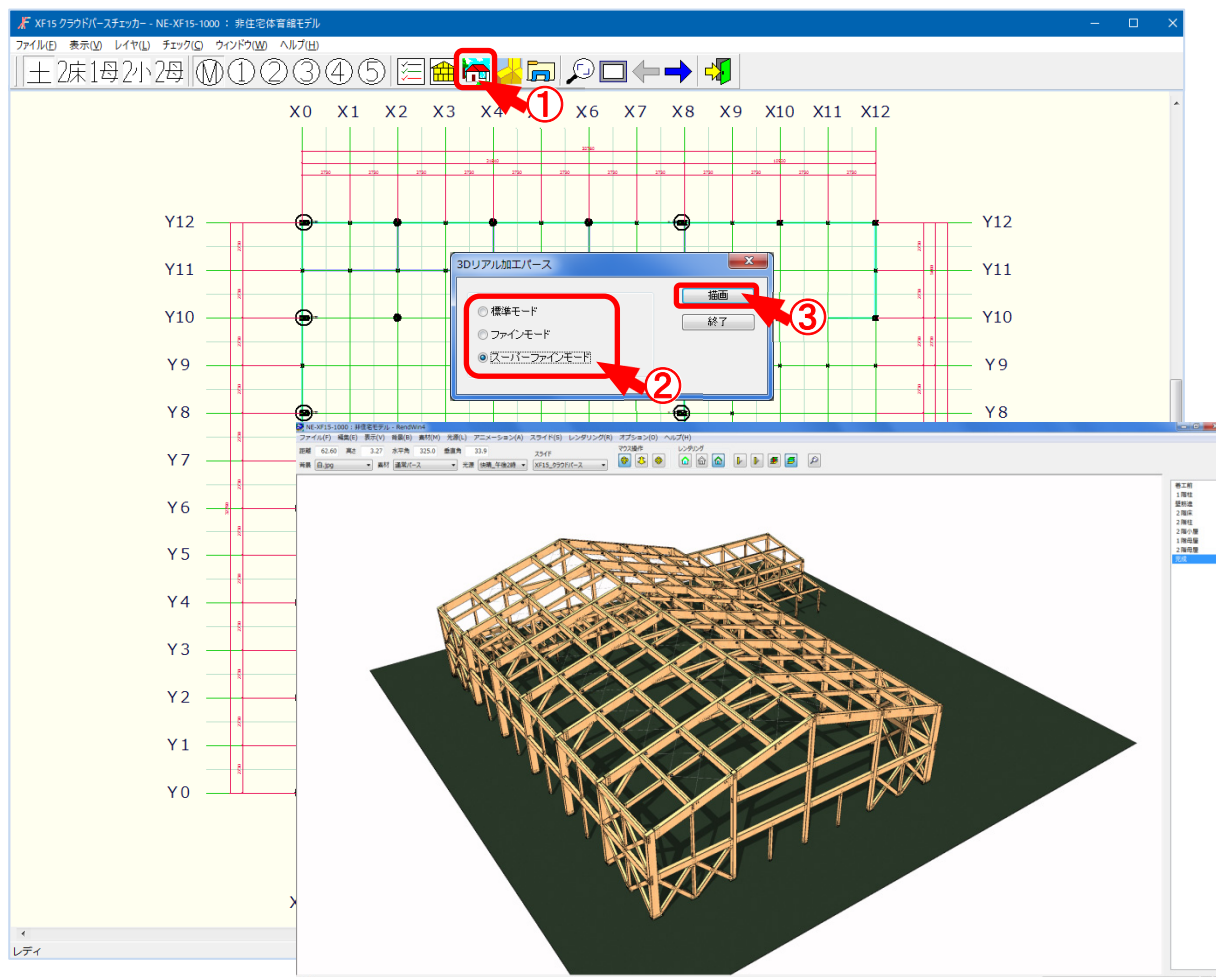


① メインツールバーをドラッグすると、移動できます。

※ クラウドパースチェッカー起動時は、常に初期位置に表示されます。

クラウドパースチェッカー／構造パース表示

◆ クラウドパースチェッカーを使用して、構造パースを起動します。



- ①  をクリックします。
- ② 構造パースの表示モードを選択します。
- ③ 描画をクリックし、各方向からパース図を確認できます。

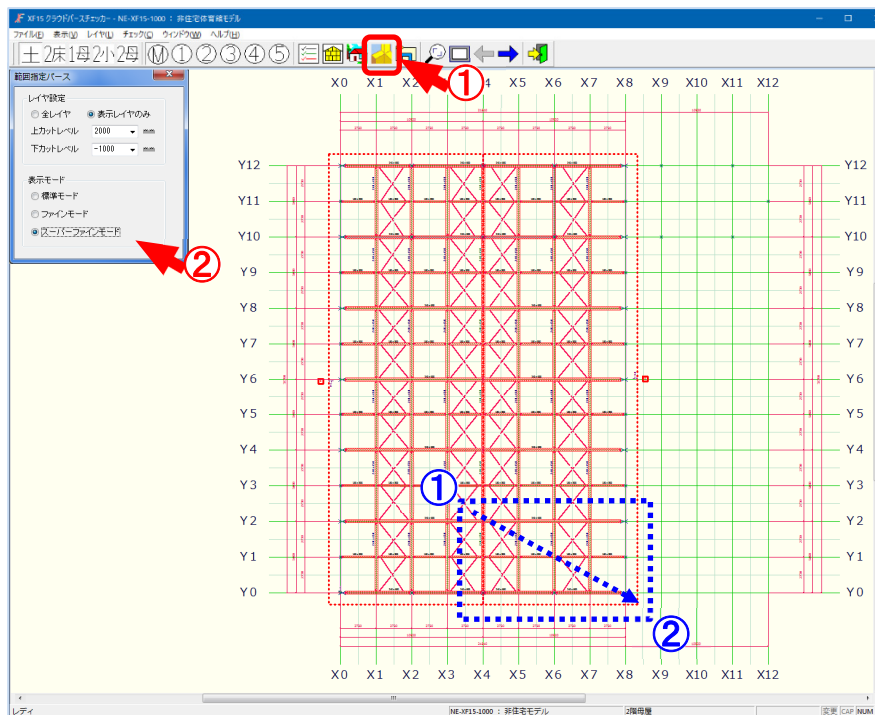
- ・標準モード：穴形状は表示されません。
 - ・ファインモード：材側面の穴形状のみ表示されます。（標準モードより時間がかかります）
 - ・スーパーファインモード：内部の穴形状まで表示されます。（ファインモードより時間がかかります）
- ※ 金物形状の穴、ドリフトピン、ボルト等の側面穴や、パイプ、鉄筋等の木口穴も同様です。



パース図の描画速度が遅い場合は、〔オプション－レンダリング設定〕(16～17ページ)をご確認ください。

クラウドパースチェッカー／範囲構造パース表示

- ◆ クラウドパースチェッカーを使用して、描画範囲を指定し構造パースを起動します。



①  をクリックします。

② 「範囲指定パース」の画面が表示されます。

- ・全レイヤ：土台から屋根レイヤまで全てのレイヤが対象となり表示されます。
- ・表示レイヤのみ：「上カットレベル」「下カットレベル」を選択、または数値を直接入力で設定します。

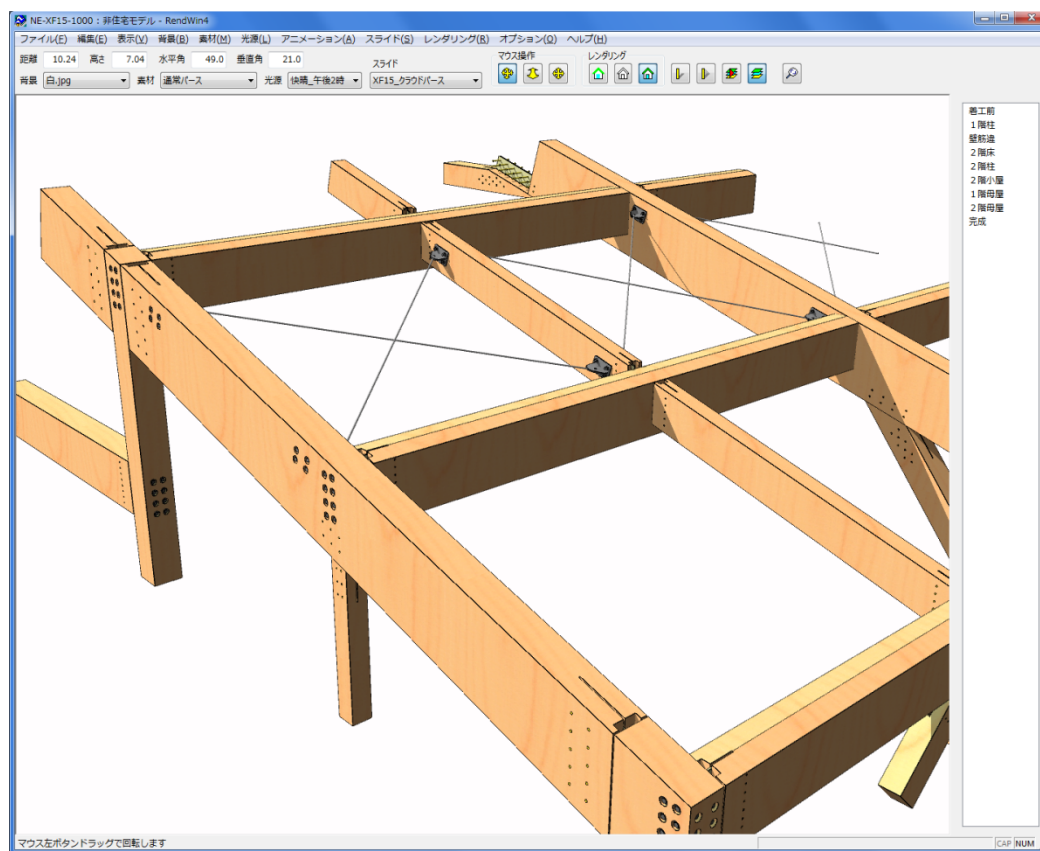
範囲指定したレイヤを基準（0 mm）レベルとし、「上カットレベル」「下カットレベル」で設定した領域に配置された要素が表示されます。

- ・表示モード：「標準モード」「ファインモード」「スーパーファインモード」を選択します。

③ ①～②点を対角にドラッグし、範囲を指定します。



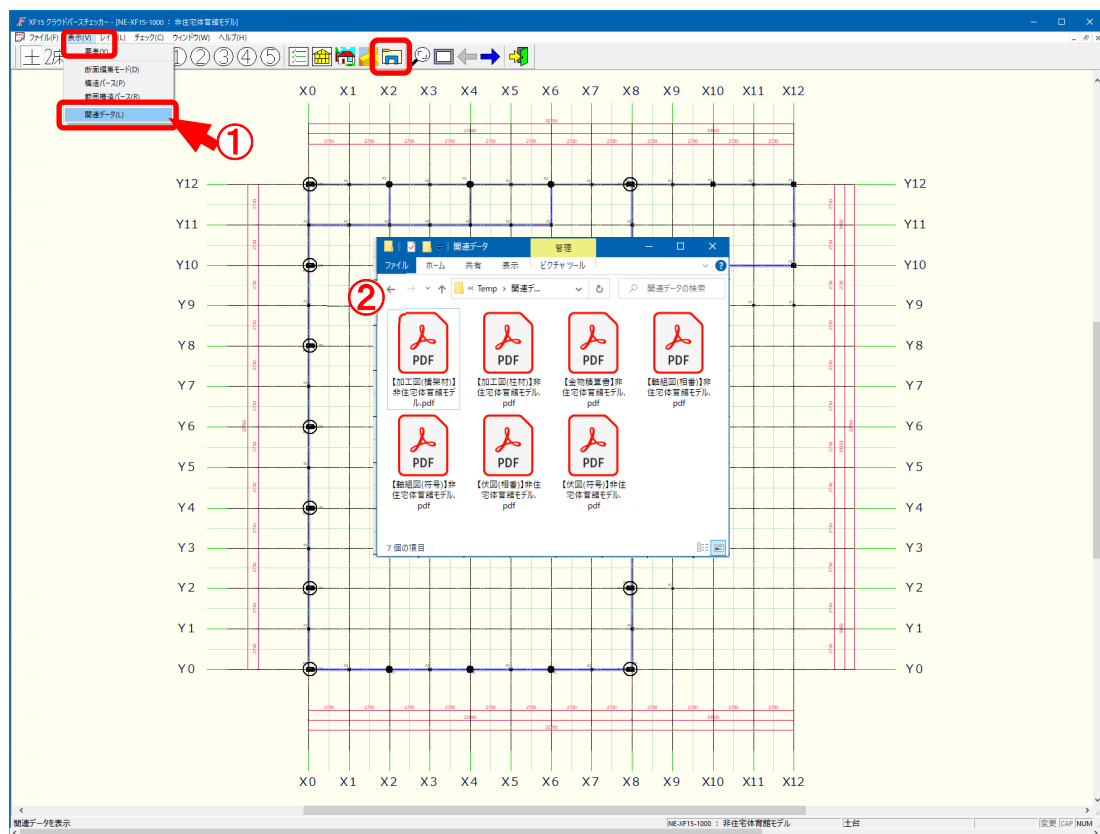
クラウドパースチェッカー／範囲構造パース表示



- ④ 指定した範囲で材がカットされパース図が表示されます。
- ⑤ 各方向からパース図を確認できます。

3. クラウドパースチェッカー起動 《 I . 伏図画面 》／関連データ

- ◆ クラウドパースチェッカーでアップロードされた P D F などのファイルを開きます。



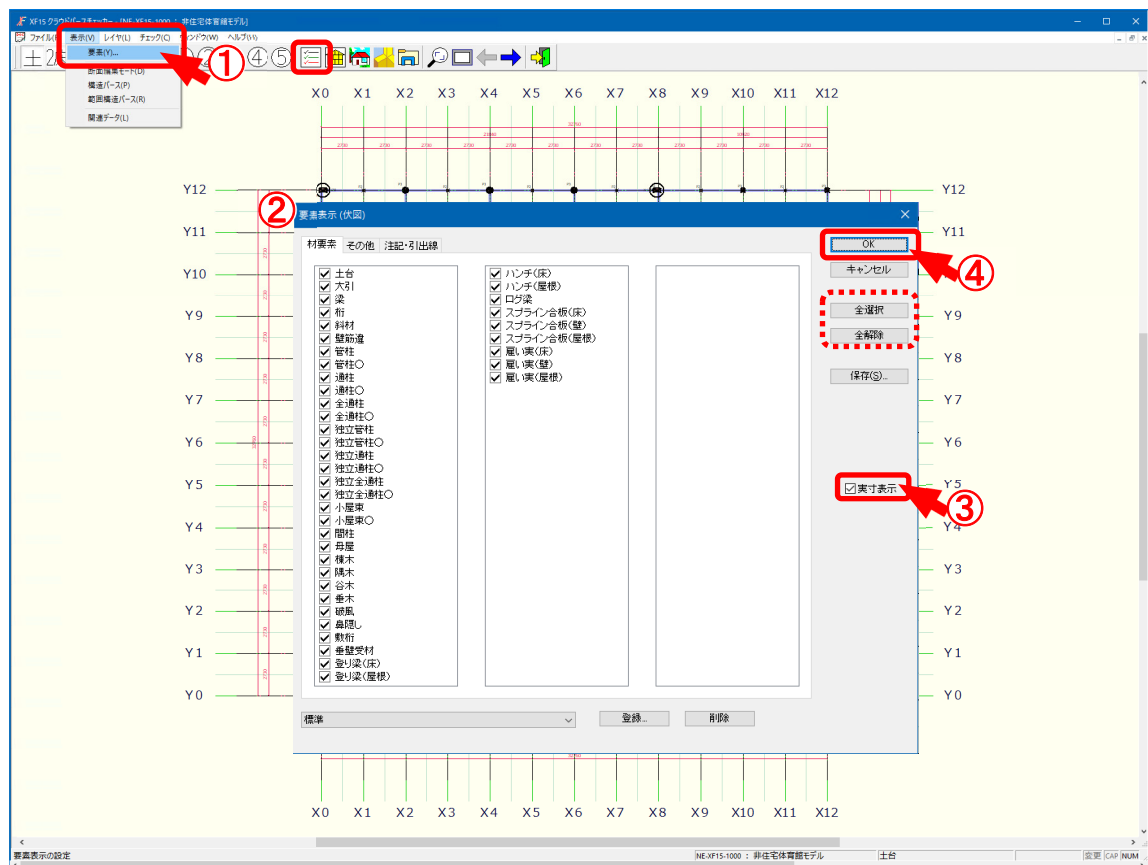
①  をクリックするか、[表示 - 関連データ]をクリックします。

② 「関連データ」のフォルダーが表示されます。

アップロードされた P D F などのファイルが保存されていますので、各ファイルを開いて確認することができます。

3. クラウドパースチェッカー起動 《 I. 伏図画面 》／表示要素設定

◆ クラウドパースチェッカーの伏図画面に表示する要素を設定します。



①  をクリックするか、「表示－要素」をクリックします。

② 「要素表示（伏図）」の画面が表示されます。

「材要素」「合板」「ユニット」「その他」「注記・引出線」のタブを選択します。

伏図画面に表示する要素にチェックをつけます。

※ 「全選択」「全解除」をクリックすると、選択しているタブの全要素を選択、解除できます。

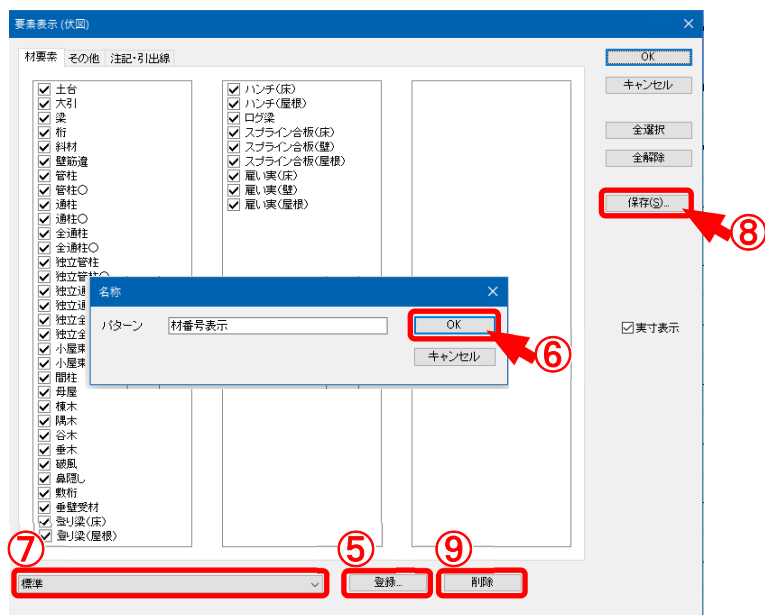
③ 「実寸表示」にチェックをつけると、伏図画面が実寸で表示されます。

④ 設定後、「OK」をクリックします。

チェックをつけた要素が伏図画面に表示されます。



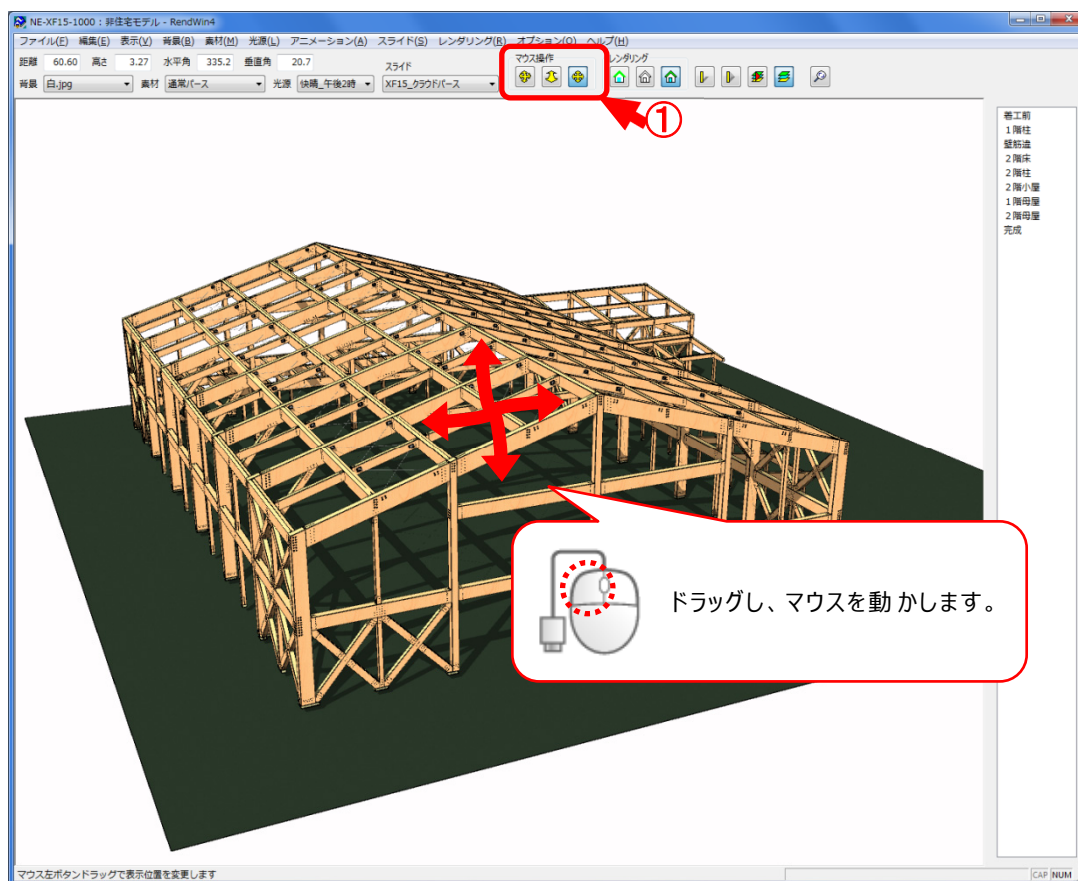
3. クラウドパースチェッカー起動 《 I . 伏図画面 》／表示要素設定



- ⑤ ②や③で設定した内容をパターン登録することができます。
「登録」をクリックします。
- ⑥ 「名称」の画面が表示されます。
パターン名称を入力し、「OK」をクリックします。
要素表示のパターンが登録できます。
- ⑦ 登録したパターンを選択すると、各要素のチェックON／OFFが登録した内容に変わります。
- ⑧ 各要素のチェックON／OFFを変更した場合は、「保存」をクリックします。
選択しているパターンに登録されます。
- ⑨ 「削除」をクリックすると、登録したパターンを削除します。

構造パース／マウス操作

- ◆ 構造パースのマウス操作では、マウスの左ボタンで回転、表示距離変更、表示位置移動の操作を行い、各方向からパース図を確認します。



- ① それぞれのボタンが押された状態で、マウス操作を行います。
構造パース起動時は、〔表示－回転モード〕が選択された状態です。

『マウス操作』



・〔表示－回転モード〕

マウスの左ボタンで画面をドラッグすると、パース図が回転します。



・〔表示－距離モード〕

マウスの左ボタンで画面を前後にドラッグすると、パース図の表示距離を変更できます。



・〔表示－平行移動モード〕

マウスの左ボタンで画面を上下左右にドラッグすると、パース図の表示位置を移動できます。

※ 〔表示－平行移動モード〕を選択していない状態でも、マウスの中ボタンで画面を上下左右にドラッグすると、パース図の表示位置を移動できます。

構造パース／マウス操作

『タッチ操作』

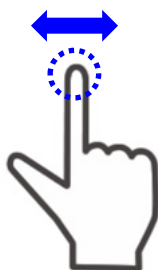
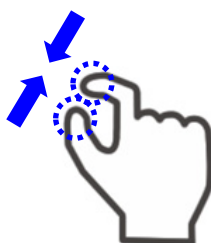
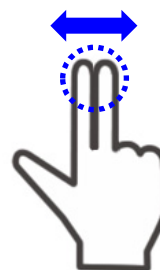
・タブレット等のタッチ操作では、1本の指で画面に触れスライドすると、回転します。



・タブレット等のタッチ操作では、2本の指で画面に触れ近づけたり(ピンチイン)離したり(ピンチアウト)すると、表示距離が変更します。

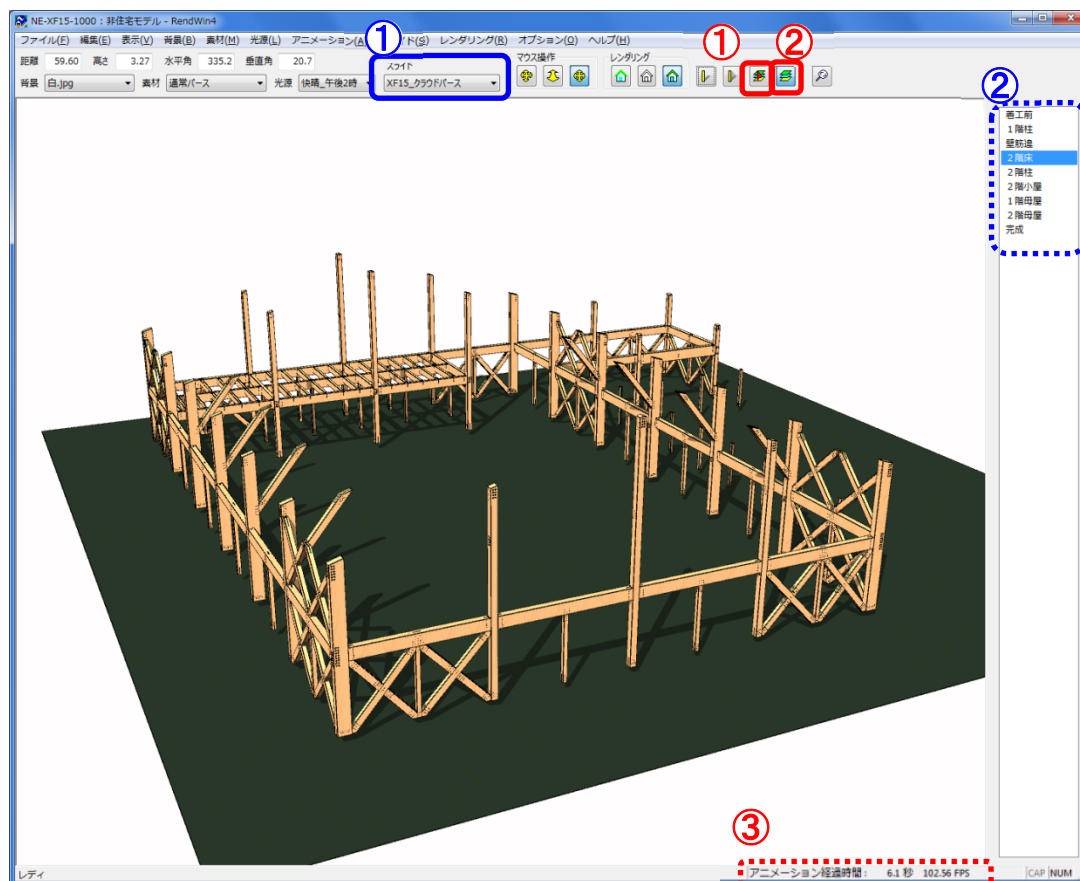


・タブレット等のタッチ操作では、2本の指で画面に触れスライドすると、平行移動します。

<回転移動>**<距離移動>****<平行移動>**

構造パース／スライド

- ◆ 構造パースのスライドでは、各部位毎に設定したフレームを登録し、指定した間隔でパース図を自動再生します。



- ① スライドを再生すると、①で選択したスライドが再生されます。
- ② スライド実行中は、レイヤバー（②）に再生中のフレーム名称が順送りされます。
- ③ スライド実行中は、〔表示－ステータスバー〕に経過時間が表示されます。
- ④ 再生中のスライドを停止する場合は、〔スライド－停止〕をクリックするか、「Esc」キーをクリックします。

『レイヤバーの表示／非表示』



・〔表示－レイヤバー〕

レイヤバー（②）の表示／非表示が切替ります。

レイヤバーには〔スライド－再生〕で実行するフレーム名称が表示されます。

『スライド再生』



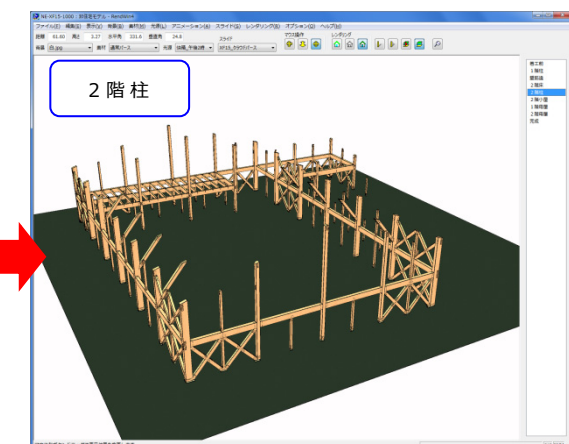
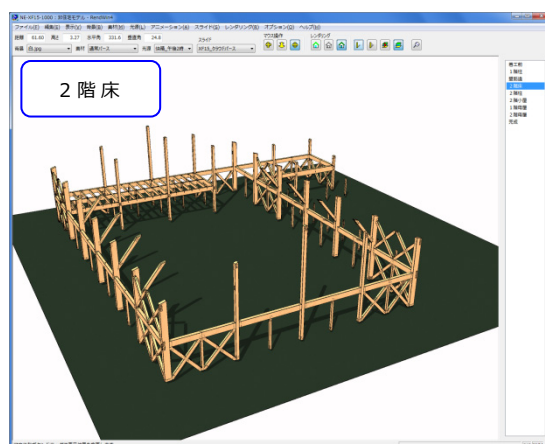
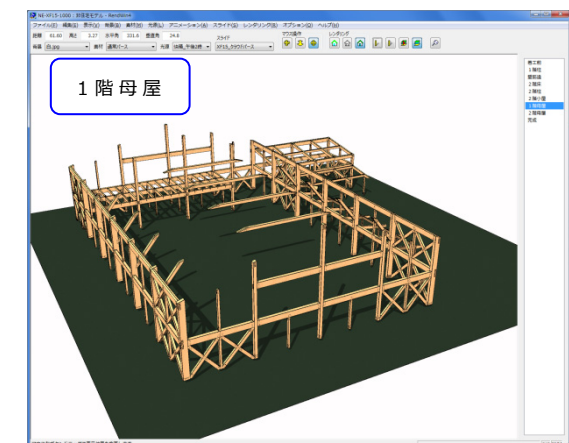
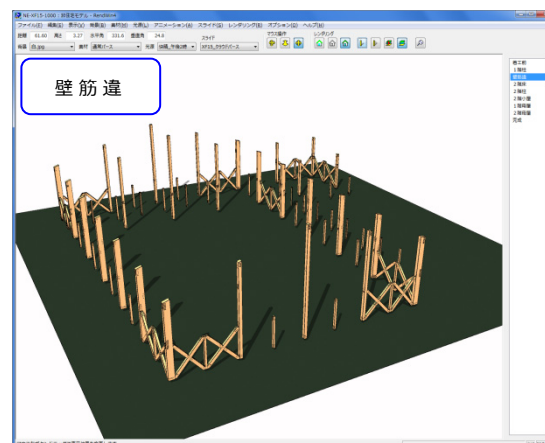
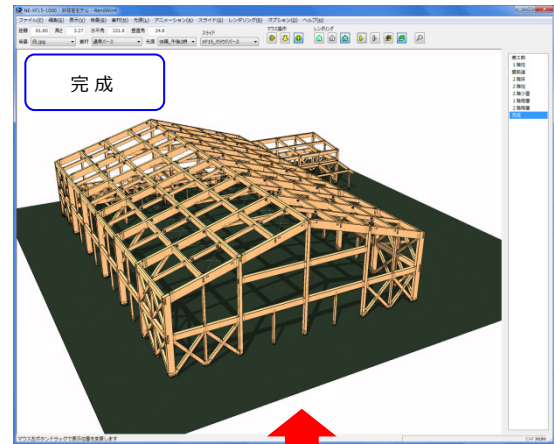
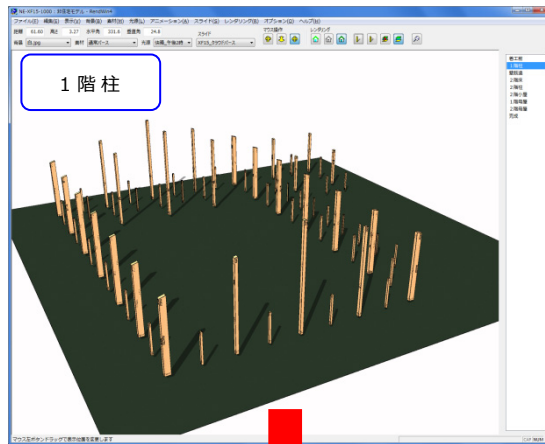
・〔スライド－再生〕

〔スライド－設定〕（①）で選択したスライドが実行されます。

構造パース／スライド

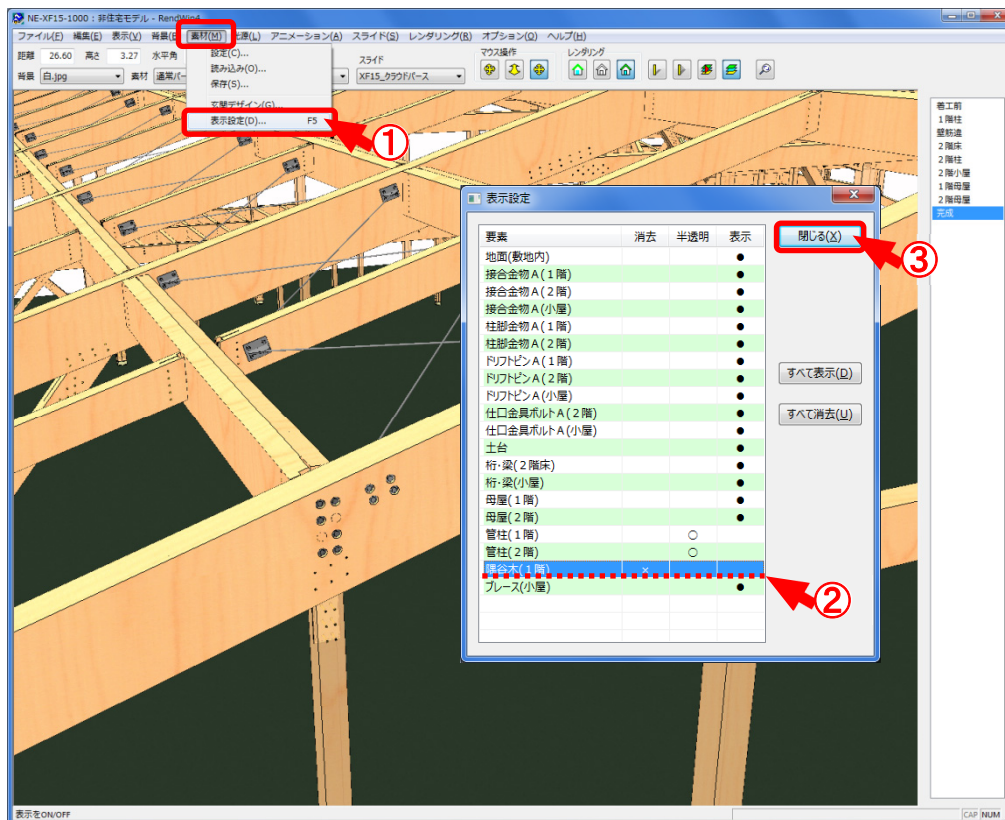
＜スライド再生＞

スライド (①) は、「XF15_クラウドパース」を選択します。



構造パース／表示設定

- ◆ 構造パースの表示設定では、要素毎にパース図の非表示、半透明表示、通常表示を選択します。



① 「素材－表示設定」をクリックします。

② 「表示設定」の画面が表示されます。

要素毎に「消去」「半透明」「表示」を選択します。

・消去：「×」が選択された要素は、パース図に表示されません。

「すべて消去」を選択すると、全ての要素が「×」に変わります。

・半透明：「○」が選択された要素は、パース図に半透明で表示されます。

・表示：「●」が選択された要素がパース図に表示されます。

「すべて表示」を選択すると、全ての要素が「●」に変わります。

※ 「消去」「半透明」「表示」をクリックした時点で表示が更新されますので、パース図を確認しながら設定できます。

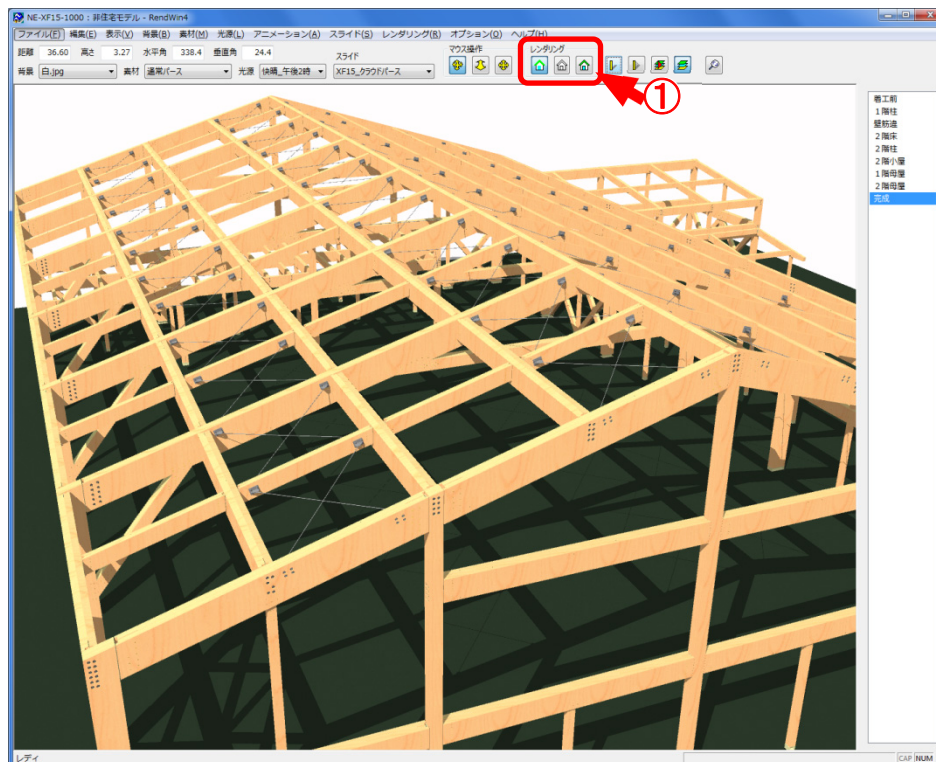
③ 設定終了後、「閉じる」をクリックします。



「素材－設定」で要素の色や透過率を設定できます。

構造パース／レンダリング

- ◆ 構造パースのレンダリングでは、パース図のデザインを選択します。



- ① パース図のデザインをカラー画像、輪郭消去、輪郭強調から選択します。
 構造パース起動時は、〔オプション－レンダリング設定〕の「標準のレンダリングモード」で設定したレンダリングで表示されます。

『レンダリング』



・〔レンダリング－カラー画像〕

カラーパース図を表示します。



・〔レンダリング－輪郭消去〕

輪郭消去されたパース図を表示します。

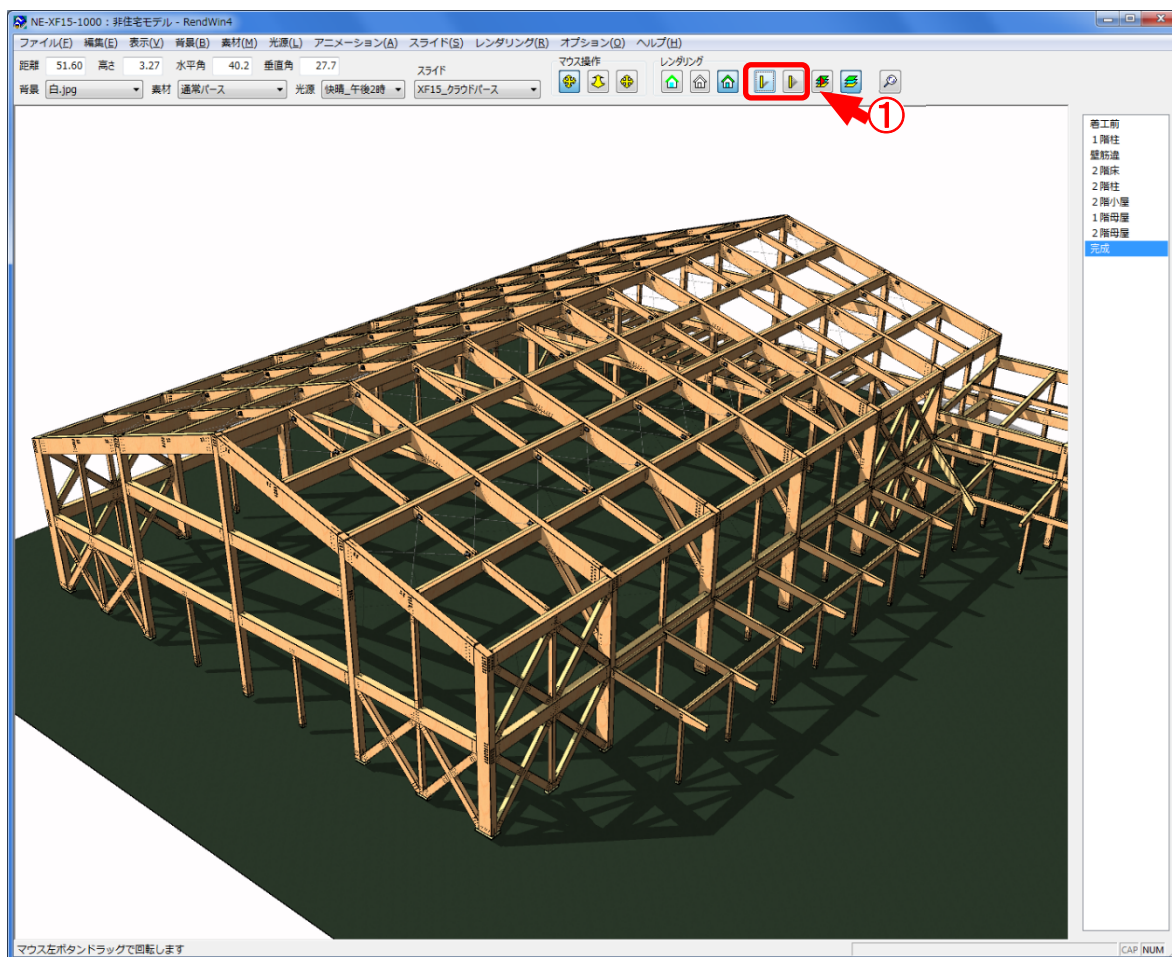


・〔レンダリング－輪郭強調〕

カラーで輪郭線が強調されたパース図を表示します。

構造パース／影の表示

- ◆ 構造パースの影の表示では、パース図に影や影の軌跡を表示します。



- ① パース図に影または影の軌跡を表示します。
〔光源－設定〕の光源を参照し、影の方向や長さが決まります。

『影の表示』



・〔光源－影の表示〕

影を表示します。

『影の軌跡表示』

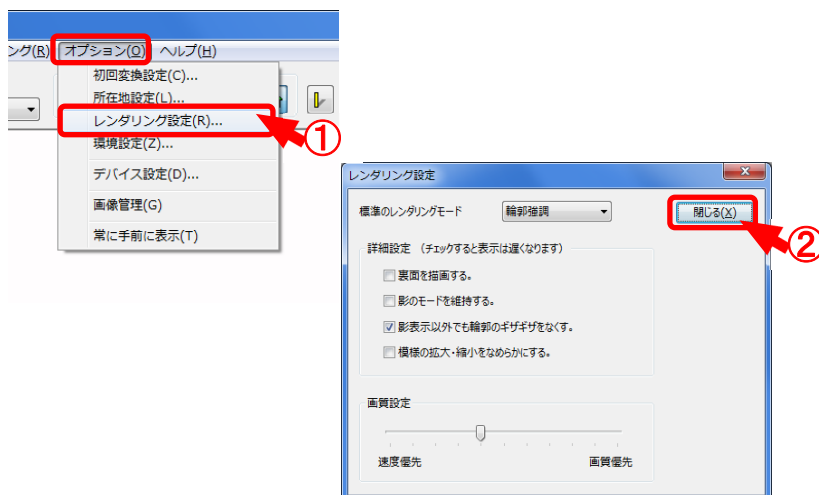


・〔光源－影の軌跡表示〕

影の軌跡を表示します。

構造パース／レンダリング設定

- ◆ 構造パースのレンダリング設定では、パース図の表示に時間が掛かる場合に、設定を変更することで解消されます。



- ① 「オプション－レンダリング設定」をクリックします。
- ② 「レンダリング設定」の画面が表示されます。
レンダリングや画質を設定し、「閉じる」をクリックします。

『標準のレンダリングモード』

構造パース起動時の初期のレンダリングを選択します。

パース図のデザインを「カラー画像」「輪郭消去」「輪郭強調」から選択します。

※ 構造パース起動後は、「レンダリング－カラー画像、輪郭消去、輪郭強調」から変更できます。



「詳細設定」の設定項目にチェックとつけると、パース図の描画スピードが遅くなります。
回転、移動の操作で描画速度が遅い場合、「詳細設定」の設定項目のチェックをはずし、
「画質設定」を速度優先で設定してください。

構造パース／レンダリング設定

『詳細設定』

・「裏面を描画する。」

チェックをつけると、地面の下から等、裏面からパース図を確認しても、描画されます。

※ パース図の描画スピードが遅くなる為、通常はチェックをOFFにしてください。

・「影のモードを維持する。」

チェックをつけると、〔光源－影の表示〕で影を表示している場合、回転、移動等で視点を変更（再描画）しても影が表示されたままとなります。

再度〔光源－影の表示〕をクリックすると、影が非表示になります。

チェックがOFFの場合は、〔光源－影の表示〕で影を表示していても、視点を変更（再描画）すると、影が非表示になります。

・「影表示以外でも輪郭のギザギザをなくす。」

チェックをつけると、パース図の輪郭線のギザギザ表示が目立たなくなります。

〔光源－影の表示〕がONの場合、パース図の表示を滑らかにする処理が自動でかけられます。

〔光源－影の表示〕がOFFの場合でも同じ処理がかけられ、表示が滑らかになります。

・「模様の拡大・縮小をなめらかにする。」

チェックをつけると、パース図で目地等の模様が回転、移動等で視点を変更（再描画）した際にちらちらするのを防ぎます。

目地等の模様を斜めから確認すると、遠くほど模様が小さくなりますが、チェックをつけることで、描画処理がスムーズになります。

『画質設定』

スクロール矢印をクリックするか、スクロールボックスをドラッグしてパース図の画質を設定します。

・「速度優先」

速度を優先すると、パース図の画質を落としてでも操作が高速化されます。

※ 速度が遅いパソコン向けです。

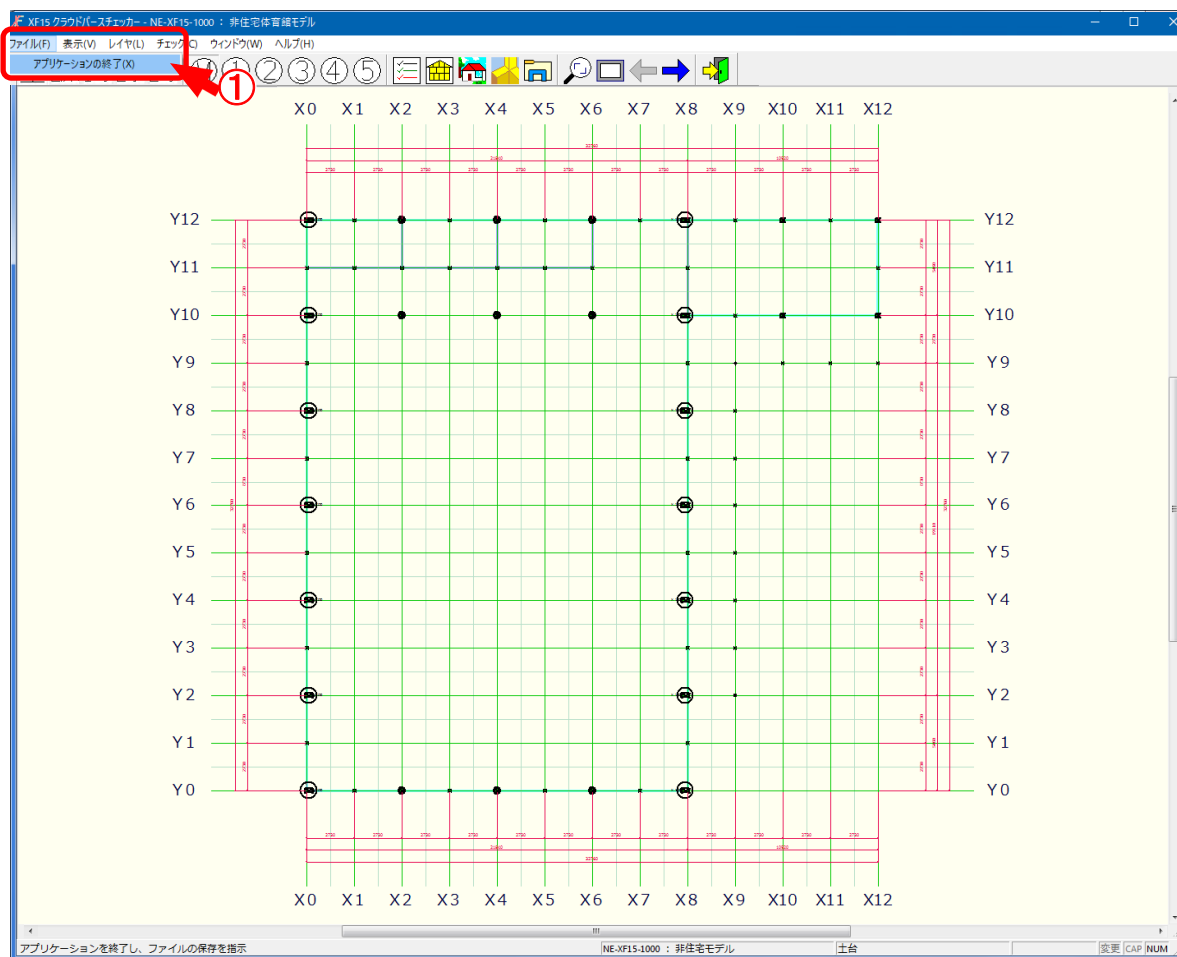
・「画質優先」

画質を優先すると、操作の処理速度を気にせずに最高画質でパース図が表示されます。

※ 速度が速いパソコン向けです。

クラウドパースチェッカー／終了

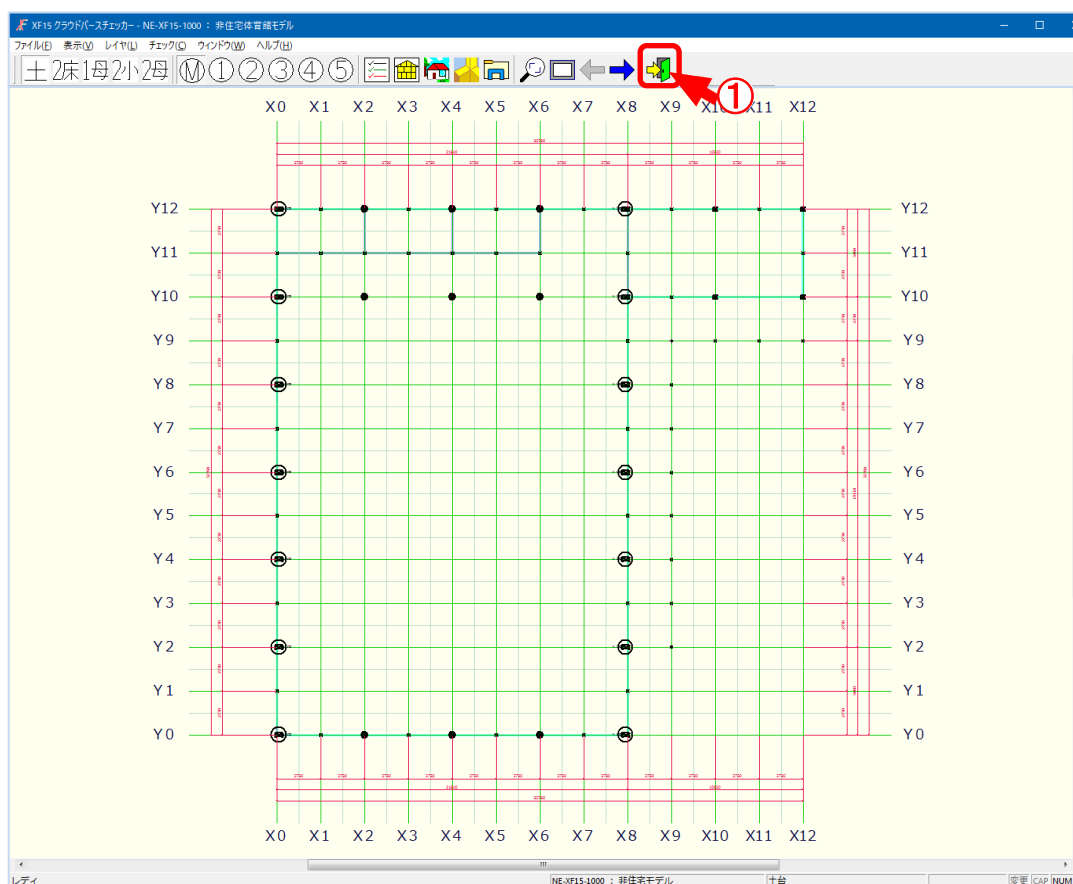
- ◆ 構造パースを閉じ、クラウドパースチェッカーシステムを終了します。



- ① [ファイル－アプリケーションの終了]をクリックします。
- ② 構造パースが終了します。



クラウドパースチェッカー／終了



- ①  をクリックします。
- ② クラウドパースチェッカーが終了します。